

寄居若者会議 第3回ミーティング

日時: 2021年7月28(水) 20:00~21:30

場所: オンライン

出席者: 石田、野沢、西田、丹野、上田

ゲスト: 木島(turiai)

1. LFC コンポストプロジェクトについて

- ・7/24 に予定したイベントは、回遊緑日の中心、GOOD PARK の利用中止の影響で開催できなかった。
- ・開催するには、コロナ禍の影響を受けない場所とマンパワーが必要になる。
- ・民間の敷地で、独自にやる方法もある。
- ・一方で、町として開催を認められる場所や環境、体制でしっかりやるのも手かもしれない。
- ・押田さんは、LFC コンポストの活動をきっかけに寄居に来てもらって、寄居を知ってもらう機会になると良いと考えている。
- ・町と連携していかないと、予算が使えないこともあるため、現実的な落としどころを探すのが良いだろう。
- ・今日の会議の様子などもアップして良いと思う。イベントなどだけでなく、話し合いの様子、検討のプロセスなどを発信することも重要だと思う。

2. インタビューについて

(1) 木島さんの自己紹介

- ・もともと不動産会社で、チラシ、ポスター制作などをやっていたので、デザインをすることが増えていた。これまでの経験を踏まえて、turiai という屋号で個人事業を2月に立ち上げた。
- ・デザインやウェブサイトの仕事とともに、合縁奇家という、価値ある建物を残す活動をしている。
- ・木島さんに、若者会議は、どう見えているのか?(石田)
 - ⇒どんな人が活動しているのかわからない。
 - また、年間通して大きな取り組みをしている印象がある。小さな取り組みをしてもいいかもしれないと感じている。
- ・昔はマンパワーがあって、もっといろいろできた。今は寄居外に移住する人もいて、できることが限られている。ただし、これまで、好きなことをやらせてもらった感謝もあるので、人数が減ったからといって辞めたくない。

(2) インタビューの内容について

- ・インタビューは誰に伝えたいのか。
 - ⇒まずは、メンバー内。皆が何を考えて、何をしたいのか、共有したい。みんなの指向、価値観を知りたい。

- ・結果的に、若者メンバー募集にも繋がると良い。インタビューの情報が広がることで、自分もやってみたい、という声が出てくると良い。
- ・若者会議の中で、互いのパーソナリティを知るような意見交換はないのか。
⇒会議になると言えない人もいるので、個別のインタビューが有効を考えている。
- ・木附さんはライブやりたい、もっと街に関わりたいと思っているし、丹野さんは、教員なので、子どもにまちづくりに関心を持ってほしいと思っている。そういう個々の思いを引き出したい。
- ・インタビューで聞くことは、若者会議に参加した経緯、若者会議でやりたいこと、若者会議に今も残る理由、今何しているのか、一度離れた人はなぜ寄居に関わろうと思ったのか、誰と会ったら・何を見たら寄居に来たと思う?など。
- ・インタビュー前に、名前、年齢、所属などは木島さんに伝える。
- ・記事のアップは、note の「寄居くらしごと」、そこから、YORICO のメンバー紹介(顔写真のところに)にリンクを貼る。
- ・日程調整は、LINE グループで調整を投げかけ、希望日を回答してもらう。
- ・木島さんのスケジュールを考慮し、お盆明け以降に日程調整をする。
- ・あまり参加できていない、関口くんは野沢さんから声掛け、藍ちゃんは西田さん、小野田くんは野沢さん?から声掛けする。念のため、メンバーを加島さんに確認する(野沢さん)。
- ・高知に行った大我君にも話聞きたい。遠方でも関わられることを知ったら、関わってくれるかもしれない。
- ・インタビューは一気に完成しても、アップは週1回程度の頻度がいいかもしれない。週1回のアップであれば、その都度、皆でシェアしながら、9 週間アップが続くので、活動している動きを見せることもできる。